**世界観設定（初稿段階）**

**1．どのような場所か？**

　全体的にヨーロッパの雰囲気を思わせる風景。

　アイドルを育成する学園を中心に広がる街では、日用雑貨から衣服、アクセサリーなど女性をターゲットにした店が立ち並ぶ。

また、各所に設けられたアイドルの宣材写真やイメージビデオを撮影するための施設が多く建っている（噴水・庭園・教会・遊園地・ビーチなど）。

街は四つのエリアに分かれている。

・ノースエリア（北）

・ウエストエリア（西）

・サウスエリア（南）

・イーストエリア（東）

　各エリアにはそれぞれ特色があり、例えばノースエリアはクールな街並み・クールな店が立ち並び、目玉となる施設は教会。などエリアごとの特色を以下に記述。

・ノースエリア＝クール

・ウエストエリア＝キュート

・サウスエリア＝ポップ

・イーストエリア＝セクシー

　このように特色がある。また、各エリアのブランドショップなどは学園に通うトップアイドルが自ら企画・制作に携わっているため「私も自分のブランドを持ちたい！」など在校生アイドルたちの士気が上がる理由にもなっている。

※ハリーポッターのホグワーツ魔法術学校をイメージ。あれを少女（タゲ：７～14歳程度）が見て「うわぁ、キレイ！　お城みたいっ」と思わせるように工夫を施す。

　店が立ち並ぶ様は、ヨーロッパの城下町を現代風に置き換えてみる。店の内装は実際にあるアクセサリーショップやブランドショップをモデルに、創作物ならではの特色などをつけて画として映えさせる。

そこまで荘厳華美（ベルサイユ宮殿のような）にせず、日本のお嬢様学校などを調べて既存の『学園もの作品』から着想を得た上で工夫した方が良いかと思います。

　また、各エリアにブランドショップなどを設けてアイドルが憧れているという設定は現実の子供たちに将来の夢を持たせるためにあります。『○○になりたい！』という気持ちは子供の方が強く、そして曖昧なのですが、大人になっていくなかで「あぁ、こんな時期もあったな。なれるワケないって思ってたけど、もう一回目指してみようかな」と思えるきっかけになればと考えました。

**２．学園について**

年少の女子がアイドルについての知識や技術を学ぶための六年制かつ、全寮制の教育機関。その年の4月1日時点で9歳である少女に入学資格が与えられる。

　細かく言えば、９～12歳の初等部が三年、12～15歳の中等部が三年とされる。

　単位などは明細されていないが、初等部の卒業時、中等部の卒業時に試験があり、生徒たちはそこで三年間もしくは六年間をアイドルとして学んだ成果を大々的に見せることが出来る祭典が設けられる。

『アミティエ制度』というものがあり、生徒たちは入学または編入した際に一人のパートナーを作らなければならないという制度のことである。

　そのため、入学直後にはクラス内で『良きパートナー』を見つけるための争奪戦が繰り広げられる（アニメ的、または少女チックな争奪戦、コメディ）。

　パートナーとなったクラスメイトとは、その後の六年間を共に暮らしていかなければならない。

※学園についての設定は主に『自立と友愛』をテーマにしています。

　全寮制にしたのは、親の元を離れ自立した生活を送るという裏付けを。

　アミティエ制度には『隣人を愛し、分かち合える友とせよ』という、現代社会における若者世代の友情の希薄さに着眼点を置きました。

　しかし、このアミティエ制度には致し方ない場合はパートナーを解消しても良いとされています。ここをうまく扱えれば、ストーリー（画）として面白くなると思います。

　また、卒業試験時における祭典は学園祭を音楽フェスタのようにしているもの、と考えて頂ければイメージしやすいかと。音楽フェスタも、そのアイドルの特色によって様変わりするような描き方をすれば面白くなると思います。アイカツのライブシーン、ラブライブのライブシーンを参考にしていただければ幸いです。

**3．施設（ショップなど）の利用法**

　学園へ入学した生徒に渡される端末を使って購入ができるようになっている。

　入学時では一律の金額が設定されており、それをオーバーすると文字通り一文無しになってしまう。ので、生徒はアイドル活動をするなかで観客・リスナーなどからポイントを貰えるように努力する。

　※これについては省かれても良いかなと。設定上『お金』という、子供向けには取扱いの厳しい側面がありますので。

　仮にこの設定を踏まえた上でストーリーを魅せるならば、テーマには『自給自足』を上げることが出来ます。子供はいつか親の元を離れ、自分の生活は自分で賄っていかなければなりません。

　好きなことでお金をもらう―この事を素晴らしいと子供に思ってもらうには良いのではないかと考えましたが、前述した通り、扱いには気をつけてください。

**４．学園の運営（あまり必要でない項目）**

学園を運営するのは、過去アイドルとして活動していた卒業生の複数人からなる理事会があり、学長の任命や停職の権限を持っている。

　会に集うのは著名な元アイドルたちで、引退しているものが多い。

**５．教職員と学園長**

主人公の入学した際の学園長は白川みさき。各教師（ボイトレ、ダントレ、マナトレなど）は彼女が自ら任命する。副学長は要らないので記入なし。

全寮制のため寮監がおり、鬼の～と呼ばれているがこれも不必要かと。

**６．生徒の規模**

生徒数はおよそ600人ほどを想定。初等部300、中等部が300の割合。

　初等部は一年から三年生まで、各学年が３クラスに分かれており、平均して１クラス30と若干名ほど。

　中等部も同じような組み分けと人数分けがなされている。

**７．寮について**

　学園には、アイドルたちが住まう寮が二つ存在している。

　一つは初等部の生徒が所属する寮。もう一つは中等部の生徒が所属する寮。

　全寮制のため、全校生徒が寮に住んでいる。

　寮内には食堂、大浴場、談話室が設けられており、生徒はそれぞれのタイムスケジュールで帰宅、食事、風呂、談話室でパートナーまたは友人と話すなどして過ごす。

　トップアイドルの部屋は別館にあり、彼女らに与えられた特別な端末で認証しなければ入室出来ない仕組みになっている。